



第2221号
編集兼発行人
埼玉県教職員組合
情報宣伝部
さいたま市浦和区高砂
3-12-24教育会館内
電話048 (824) 2511
(一部 10円)
毎月15日発行
(組合員の購読料は組合費に含む)

▽埼玉教組へメール



▽埼玉教組HP



過酷な労働実態や物価高騰を

無視した不当な勧告

・3年ぶりの月例給改善も、若年層のみ
・一時金はわずか0・1月の改善

人事院は8月8日、政府と国会に対して国家公務員の給与に関する勧告と人事管理に関する報告を行いました。以下、概要をお示しします。

- 公務よりも民間が921円（0・23％）上回る
- 3年ぶりの月例給改善、30歳代半ばまでの若年層のみ棒給表引き上げ
- 一時金は民間の方が0・11月分上回る
- 一時金は0・1月分、勤勉手当の引き上げ
- 人材の確保・育成・人事管理の推進
- 採用試験の見直し（実施時期の前倒し、試験地追加、合格有効期間の延伸、その他）
- 民間との人材交流の円滑化
- 研修を通じた人材の育成
- 能力実績に基づく人事管理の推進等
- ④勤務環境の整備
- 長時間過密労働について、超過勤務時間の適正な管理を指導するなど
- の対策。業務量に応じた定員・人員確保の必要性を指摘。

□テレワーク等の柔軟な働き方に対応した勤務時間の検討（本年度を目途に結論を得るべく研究会で引き続き検討）

□健康づくりの推進（健康管理体制の充実を検討するため実態調査）

□仕事と生活の両立支援（不妊治療について周知啓発、介護休暇や自己啓発等休暇制度などに係る調査研究）

□ハラスメント防止対策（管理職のマネジメント能力の向上を図る）

⑤60歳前からの給与カーブや地域手当をはじめ基本給を補完する諸手当の見直しについて言及（給与制度のアップデート）

□令和5年夏に具体的な措置についての骨格案

□令和6年に措置の成案・施策

□定年引き上げが完成する令和13年3月を見据えた、さらなる措置

2022人事院勧告の問題点

□生活改善に目を向けない勧告

□中高年層の棒給表は手つかず

□生計費原則無視（物価上昇は2％を超えている）

□一時金は過去2年間で、0・2月もマイナスになっている

□再任用の一時金上げ幅は0・05月（月例給が下げられているのに）

□会計年度任用職員の一時金上げ幅は、なんと0月（勤勉手当がないから）

□行うべきは人員増

□再任用者の処遇について改善点なし

□定年引上げに伴う給与の引下げに改善点なし

□定年前、同じ仕事で60歳を超える

と7割に減額されるなど、あり得ない

□号給のばしを行い改善、給与カーブの見直しなど論外

□地域手当の改善なし

□不妊治療・育児・子育て休暇のさらなる拡充を

□会計年度任用職員の待遇について改善点なし

今こそ生計費原則で、抜本的な待遇改善を

今、ウクライナ情勢や円安による諸物価の急激な高騰がわたしたちの家計を直撃し、生活を維持することすら困難になっています。

国で、人事院勧告が国家公務員の給与に関する勧告をするのと同様に、埼玉県では埼玉県人事委員会が、さいたま市ではさいたま市人事委員会が、我々の給与に関する勧告を行います。人事院勧告に追従することなく、勧告が行われること



が大事です。独立性・中立性を十分確保し、生活実態を踏まえ、今こそ生計費原則にもとづく大幅な賃上げを行うとともに、抜本的な定数増及びそれに基づく人員増を行い、労働条件を改善して長時間過密労働を解消するような勧告を求めます。

職場に組合の風を

この間、地公労は、埼玉県人事委員会に「2022年度人事委員会勧告に関する重点要求書」を、さいたま市教組は、さいたま市人事委員会に「適切な調査に基づく勧告等に関する要求書」をそれぞれ提出し、交渉を進めています。また、「抜本的な生活改善につながる勧告を求める要求書名（埼玉県人事委員会宛て賃金署名）」にもとりくんではいます。本部にたくさん集まってきました。

9月12日には、地公労による埼玉県人事委員会交渉を行いました。埼玉教組・埼玉高教からは、「多忙化解消と賃金・諸手当の改善なしに、教員不足は改善されない」「学校の多忙化が解消されないと、教育力が低下する」「未配置・未補充の問題は喫緊の課題」「臨時任用の事務職員・栄養職員の複数年配置を」など、訴えました。

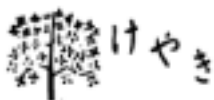
今後、埼玉県とさいたま市の人事委員会、教育委員会との交渉など、とりくみが進められます。ぜひみなさん、ご参加いただき職場の声を届けてください。今後も、職場に組合の風を吹かせ、運動を進めましょう。

どうして「国葬」？怒！怒！怒！怒！怒！

今月27日に予定している安倍元首相の「国葬」に対する国民の怒りが沸騰しています。「国葬」中止を求める署名に短期間に40万人以上の人より寄せられているそうです。主要メディアの行った世論調査のすべてで、「反対」「評価しない」が過半数になっています。「国葬」は「法の下での平等」「思想・良心の自由」に反し憲法違反です。なぜ安倍氏にだけ「国葬」を実施するのか合理的理由を示していません。首相は「故人に対する敬意と弔意を国全体で表す儀式」と述べましたが、国民全体に対して弔意の強制になります。2・5億円という費用は16・6億円に跳ね上がり、明確な積算根拠も国会の議決もなく、さらに膨れ上がるのは必至といわれています。そのうえ、反社会的カルト集団の統一協会と故安倍元首相をはじめ自民党との癒着問題も不信と怒りを広げます。霊感商法や集団結婚式などの被害を広げた統

一協会と自民党が深い関係にあるのは、自民党には政治的利用価値があり、教団の側には広告塔として利用してきた持ちつ持たれつの最悪の関係が深刻な被害を広げてきたといえます。

埼玉教組本部は県教委に対して「弔旗掲揚等、弔意の表明を強制しないよう求める要請」を行いました。支部・単組も該当する市町村教育委員会へ同様の要請を行いました。校長に対しても、「子どもと教職員に弔意表明を強要しないこと」を求める要請にとりくんでいます。すべての学校は、子どもたちの人権を尊重し、幸せになる権利を最大に保障しなくてはなりません。「国葬」は国民や子どもたちの自由と人権を踏みにじり、民主主義を壊すものです。



新学期がはじまり、学校に子どもたちの歓声が戻ってきた！と書き

たいところですが、長引くマスク生活でまだそうもいかないのではないのでしょうか。夏の甲子園大会優勝校の先生が「青春ですごく密なので」というように、子ども時代の一日はとても長く濃密です。その一日を充実できるように教職員の奮闘する日々がはじまりました

▼政界では、コロナ感染症ならぬ統一協会（旧統一教会）汚染が最大与党で蔓延しています。この汚染は、人の人生を食い物にしている団体を応援したり応援されたりした汚染です。民主政治を根本から腐らせます▼ところが、端を発した元首相の汚染を調査せずに「国葬」とは甚だ笑止千万ではないでしょうか。これでは民主主義を守るどころか破壊です。これも道德の教科化を推し進めた元首相の本意か▼どうやら新学期もマスクをしながらかわらずにはいられないようです。交渉権があるのは組合だけです。節度と道理をもって自然体でやりましょう（お）

教育文化 研究所 コーナー

安倍元首相の「国葬」は、子どもらへの影響も大です。来年は小学校の教科書採択の年です。「国葬」と安倍元首相の記述はかなりの紙面を占めるでしょう。

アベ政治の対極にあるもの

安倍元首相への賛美と礼賛は誤った歴史認識を植え付ける結果となります。が、「教育基本法」を変え、安保関連法をはじめとする「戦争をする国」づくりと「森友」「加計」「桜を見る会」で政治を私物化した事

む人々に寄り添い続けた、医師・中村哲。戦火の中で病を治し、井戸を掘り、用水路を建設しました。

また国会で憲法についても次のように語っています。「武器など絶対に使用しないで、

アフガニスタンとパキスタンで35年に渡り、病や貧困に苦し

た日本。それが、ほんとうの日本。それが、ほんとうの日本。その強みなんです」彼の活動を追ったドキュメン

実を消してはなりません。安倍元首相の訃報に際し、すぐに思い浮かんだのが中村哲医師です。同じ凶弾に倒れた彼の生き方と功績は、安倍元首相とは対極にあるからです。

平和を具現する。それが具体的な形として存在しているのが日本という国の平和憲法、9条です。それを現地の人たちも分かってくれているんです。(中略) 9条があるから、海外ではこれまで絶対に銃を撃たなかった日本。それが、ほんとうの日本。その強みなんです」彼の活動を追ったドキュメン

「全国集会」に参加して...

中村さん

子どもを真ん中に、 学び・語り・交流する 「教育のつどい」

教育のつどい「全国集会」が8/18～21に高知市で行われました。オンライン参加も含めて、全国から4000人が参加しました。埼教組からは、司会者5人、レポーター11人、一般参加26人が参加し、実り多い教育研究会となりました。なお、評判の高い開会全体集会と記念講演(田中優子さん「多様性を包み込む社

会へ」)について、下記のように「見逃し配信」を設定しました。ご活用ください。

▼配信URL (YouTube)
⇒<https://youtube/8rU7CIpu4mg>



▼配信期間
9月30日(金) 24:00まで

教育のつどい「埼玉集会」は、11月13日(日) 13時より県立与野高校で行います。今回は、「ICT教育」分科会を特設し、全25の分科会です。コロナ対策を万全にして、事前申込制です。以下のQRコードよりお申し込みください。駐車場はありません。上履きをご持参ください。積極的にレポートを書いて、子どもを真ん中に、学び、語り、交流しましょう。



分科会への
参加申し込みは
こちらから!!

「教師の専門性とは」「教材の本質がわかること」「子どもどう学ぶをつくるか」高知での教育のつどいでは、活発な議論が交わされました。私は数学教育分科会にレポーター、司会者として参加し、全国の仲間とつながり語り合う大切さを感じました。レポーターの息づかい、表情、教材・教具などから教室の光景が目に見え、温かな雰囲気、対等な温かな雰囲気、議論から本質が見えてきます。

数学の歴史は、紐解くと人間の生活をより豊かにしようと発展してきました。実践をレポートにまとめるのは大変な作業ですが、子どもの発言・認識から教材の理解が深まり、豊かな学びにつながるのです。これらは書籍やインターネットではできないことです。

十一月には、教育のつどい埼玉集会があります。日常の教室でのドラマをレポートにして、分科会で語り合いませんか。きっと子どもの「できるよ」「になりたい」「わかりたい」願いに応えるヒントに出会えるはずです。

教育予算より防衛予算の方が多いなんてイヤ！ ～ 子どもは未来の宝 ～

2年以上続くコロナ禍のもと、子どもたちの成長・発達、心身への影響が心配です。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、国による教育予算の増額＝教育条件の改善が欠かせません。今年度の教育署名の重点要求は、教員不足を解消する教職員の大幅増員、給食費無償や高校生タブレットの公費負担による父母負担の軽減、などです。

防衛予算を2倍化させるよりも、所得格差を克服してすべての子どもにゆきとどいた教育を保障す

る教育予算の充実こそ、多数の国民の声です。国会に、県議会に、私たちの声を署名にして、届けましょう。

9月11日(日)、3年ぶりにスタート宣伝行動を県内四駅で行いました。

※今後の予定※

- ・県への要請集会
11月22日(火)
16:15～
県庁第3庁舎
- ・教育署名の最終集約
11月末までに
埼教組本部に届けてください。



大宮/マイクを握り、熱い訴え



川越/力を合わせ、100筆達成



熊谷/小さな子も一緒に応援



南越谷/OBも積極的に参加